

日本原電東海第二発電所のサービス建屋ランドリー室における 乾燥機制御盤内の焦げ跡の確認に係る立入調査結果について

令和5年7月19日
防災・危機管理部原子力安全対策課

令和5年7月19日に日本原電東海第二発電所のサービス建屋ランドリー室において乾燥機制御盤内に焦げ跡を確認したことについて、県は、同日、東海村とともに、下記のとおり立入調査を実施しました。

1 実施日時

令和5年7月19日（水） 18時15分～19時30分頃

2 実施者

県、東海村

3 立入調査結果

以下のことについて、聞き取り及び現場調査で確認した。また、焦げ跡を確認した乾燥機制御盤の現物を確認した。

○ 環境影響

- ・ 火災発生前後におけるモニタリングポスト等の値に異常がなく、周辺環境への影響は認められないこと。

○ 施設等への影響

- ・ 焦げ跡を確認した乾燥機は、管理区域内で使用した作業着を洗濯後に乾燥するためのものであり、施設の安全管理上の影響はないこと。
- ・ 乾燥機の制御盤内のみ焦げ跡が確認されており、周囲の管理区域内の設備、建屋への影響は確認されていないこと。

○ 現在の措置状況

- ・ 焦げ跡を確認した乾燥機の電源について、上流側において通電を遮断する措置が取られていること。

4 要請事項

立入調査後、以下のとおり要請を行った。

- ・ 早急に原因究明や再発防止対策の検討を進め、進捗について適宜報告すること。

5 今後の予定

原因調査や再発防止対策について事業者から引き続き報告を受け、必要に応じて立入調査等に対応状況を確認していく。